

富士裾野製作所における拠点再編について

～筋肉質な経営体質への変革に向け、国内でも事業構造改革を推進～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、国内生産拠点の一つ、富士裾野製作所（静岡県裾野市）において生産合理化を図り、自動車用防振ゴム事業（防振事業）の他拠点・グループ会社への完全移管と、化成品事業のグループ会社への一部移管をそれぞれ進めています。拠点の再編・集約により、グループ経営資源の適正配置を促し、新たなビジネスチャンスへの戦略投資や成長市場への参入などを視野に、より機動的で柔軟な意思決定を進めていきます。



30年以上の歴史を持つ富士裾野製作所

当社は1990年11月、防振、化成品両事業の生産拠点として、富士裾野製作所を設立。防振事業においては、関東・中部圏のお客様への効率的な生産対応や物流網の構築を実現したほか、工場の自動化を牽引しました。化成品事業については、オフィスのIT化とパソコンを個人所有する時代の進展に伴い、プリンター・複写機市場が急速に拡大。高精細な印刷技術を支える、当社の高精度な各種ロール・ブレードへの需要が飛躍的に高まりました。

しかし、防振事業については、納入先である自動車メーカーの生産拠点シフトなどにより、供給体制の整備の必要性が高まっていたことから、小牧製作所（愛知県小牧市）、株式会社住理工九州（大分県豊後高田市）、住理工山形株式会社（山形県米沢市）の3拠点を中心に完全移管することにしました。

また、化成品事業では、スマートフォンなどモバイル機器の普及に伴い、紙への印刷の機会が減る「ペーパーレス化」が進展。コロナ禍での新たな生活様式などを背景に、事務機器市場の縮小傾向が続く中、事業の収益体質を強化するため、同製作所の生産規模を縮小し、同事業および新規事業分野の開発・営業拠点として新たに再編します。事務機器向け主力製品の生産については、株式会社住理工大分 AE(大分県豊後高田市)および SumiRiko Chemical and Plastic Products (Thailand) Ltd. (タイ・ラヨン県) に集約する予定です。



世界で初めて実用化した帯電ロール

当社は同製作所の事業・拠点を再編することにより、グループ横断的に生産や物流など各種コスト削減を進めるとともに、人材や生産設備など経営資源の最適な配置と活用を図ります。

当社グループは 2020 年度には、フランス、アルゼンチン、ベトナム、インドなどで、攻守両面から拠点再編と事業構造改革を進めてきました。住友事業精神の「不趨浮利」で謳われるように、時代や社会環境の変化に迅速・的確に対応しながら、コロナ禍などの影響による低操業下でも、利益を確保できる筋肉質な経営体質への変革をさらに進めてまいります。

<富士裾野製作所の概要>

名称： 住友理工株式会社 富士裾野製作所
 所在地： 静岡県裾野市須山 1220 番地の 8 (富士裾野工業団地内)
 事業内容： 自動車用防振ゴムおよび事務機器向け精密部品の製造・販売
 設立： 1990 年 11 月
 面積： 土地 ; 124,000 m² 建屋 ; 23,500 m²
 従業員数： 384 名 (2021 年 3 月末時点)

<富士裾野製作所の沿革>

1990 年	第 1・第 2 棟完成 自動車用防振ゴムおよび事務機器向け精密部品の生産開始
1994 年	第 3 棟完成
2002 年	第 4 棟完成
2003 年	精密ラミネートの生産開始 (2009 年に事業譲渡)
2008 年	自動車用ホースの生産開始 (2011 年に生産終了)

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車(モビリティ)分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
 tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>